

大津歴まちエッセイ科

第2回ワークショップ

2015年

10

月

24

日(土)



—かわら—

「大津の瓦生産、

その実態に迫る！」

講師：樋爪修（大津市歴史博物館館長）



当日の スケジュール

受付開始：10：00

講演：10：30 樋爪修（大津市歴史博物館館長）

見学：11：30 松本瓦など

終了予定：12：00

場所：元・正蔵坊（〒520-0035 大津市小関町3-10）

参加費：無料

定員：40名

申込方法

ホームページの申込フォームにてお申込みください（先着順）

ホームページ：www.rekimachiyakka.jp

メール：info@rekimachiyakka.jp

TEL：077-522-2238 / FAX：077-522-2221

主催：歴まち大津の未来を考える会

後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会

平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金
（文化遺産を活かした地域活性化事業）



講演：「大津の瓦生産、その実態に迫る！」

近江の瓦といえば「八幡瓦」が有名ですが、かつて大津の地においても、瓦の生産が盛んに行われていました。江戸時代、大津百町に隣接する松本村では、江戸時代初期から瓦師の活動が認められます。市内の寺院や一般の民家などに現存する瓦のへら書き銘を丹念に調査していくと、彼ら瓦師の活動実態や供給圏などが、おぼろげに見えてきます。また現代、一般の民家で葺かれている棧瓦も（瓦屋根の家自体、少なくなっていますが）、その発祥は大津の地に求められます。今回の講座では、過去に調査した鬼瓦などの実物資料とともに、残された絵画資料や古文書資料などを駆使するなかで、大津に誕生した瓦生産の実態の、ほんの一端ではありますが、迫ってみたいと思います。

講師プロフィール



樋爪 修（ひづめおさむ）
大津市歴史博物館 館長（学芸員）
主な著書（共著を含む）に
『保存版 ふるさと大津』郷土出版社（2013年）、
『京都の大路小路』小学館（1995年）等



元・正蔵坊について

登録有形文化財。木造平屋建、建築面積一二六平方メートル、切妻造及び入母屋造棧瓦葺。南東側の八畳主室に二間幅の大床と付書院を付し、庭園に臨む三面に縁を廻らす。側廻りは柱上に舟肘木を載せ、垂木を疎らに配る。園城寺別所の坊として希少な遺構。



会場へのアクセス

- 京阪電鉄 京津線「上栄町」駅より徒歩約12分
 - 京阪電鉄 石山坂本線「三井寺」駅より徒歩約10分
 - JR 琵琶湖線「大津」駅北口（びわこ口）より徒歩約17分
 - 三井寺駐車場より徒歩約9分
- ※駐車場はありませんので公共交通機関でお越しください。

次回予告

大津歴まち百科 第3回ワークショップ「木」

日時：2015年11月21日（土）

小林圭介（滋賀県立大学 名誉教授）

詳しくはホームページをご覧ください

www.rekimachihyakka.jp

主催：歴まち大津の未来を考える会

本プロジェクトについて

本プロジェクト「大津市中心部の文化遺産を活用した地域活性化事業」は、歴まち大津の未来を考える会（代表：福家俊彦）が、豊かな自然と固有の歴史・伝統を育んできた大津市が有する歴史的文化遺産を斬新なアプローチで「楽しみ、考え、行動する」ことにより歴史的风土及び風致の創造的保存と活用を計り、この地域が培ってきた歴史文化に対する関心を喚起し、文化遺産と地域住民との結びつきを強める活動を展開することにより地域住民が誇りを持って暮らせるまちづくりの実現に資することを目指して、各種イベント（ワークショップ4回、フォーラム、モニターツアー）、インターネットを用いた情報発信、リーフレット制作を行います。

本プロジェクトは、平成27年度文化庁文化芸術振興費補助事業（文化遺産を活かした地域活性化事業）として実施しています。